

内尾小水力発電事業導入促進に伴う地域理解促進事業

1. 補助事業の目的

内尾小水力発電事業における利害関係者である白山手取川漁業協同組合へ、河川管理者（石川県）との協議により設定した維持流量を提案したところ、維持流量の実際の運用状況を確認して判断したいとの要望があった。

そのため、弊社の展開している水力発電所のうち、当該計画と最も近く、かつ、同等の維持流量で運用している塩尻市奈良井川萱ヶ平小水力発電所（以下、「萱ヶ平小水力発電所」とする。）を見学し、維持流量の流下状況を確認していただく。自社の萱ヶ平小水力発電所を見ていただくことで、設備や維持流量についてより正確に説明することができる。

併せて、奈良井川漁業協同組合から漁場への影響などについて講習会でお話しいただくことや、内尾小水力発電所にも設置を予定している魚道のイメージをもっといただき、当該発電事業に対する理解を得ることを目的とする。

2. 補助事業の概要

(1) 事業者名

株式会社グリーン電力エンジニアリング

(2) 事業期間

令和5年 9月 19日 ～ 令和5年 12月 28日

(3) 対象地域

石川県白山市内尾地区

(4) 対象地域の状況

白山市は、平成17年に1市2町5村の合併により誕生した。計画対象地域の内尾地区は河内町内に位置し、人口減少、少子高齢化の進行が顕在化している。

本事業の対象となる白山手取川漁業協同組合は、白山市の鶴来町に位置しており、手取川及び支流、大日川、直海谷川、瀬波川、尾添川、御坊谷川を管区としている。

直海谷川は、霊峰白山を源流に尾添川、大日川、その他の支川を合流しながら穀倉地帯である加賀平野を西流して日本海に至る手取川水系に属し、白山市河内町内尾の西で手取川に合流する全長約16kmの河川である。標高約300mに位置する一級河川指定区間から手取川との合流地点までの高低差が約200mあり、勾配の大きな河川である。

(5) 対象発電所

水系・河川名	一級河川手取川水系直海谷川
発電所名	内尾小水力発電所
事業者	株式会社グリーン電力エンジニアリング
出力	199kW

3. これまでの取り組み状況と課題

関係各所や利害関係者に対して許認可および事業化への同意取得協議を実施しており各所から事業化に対して合意の意向を確認している。

ただし、当該計画地点を管轄する白山手取川漁業協同組合からは減水区間に設定した維持流量について

数値上で示されたものだけでは、運転後の河川状況をイメージできないことが事業を安心して同意することができないとの指摘を受けている。白山手取川漁業協同組合の不安を払しょくするために維持流量の流下状況の実態を示すことが課題となっている。

4. 実施概要

- ・萱ヶ平小水力発電所見学会
- ・講演会（意見交換会）の実施（講師：奈良井川漁業協同組合）

●重点的に実施した事項

- ・塩尻市奈良井川萱ヶ平小水力発電所の見学だけでなく、現地設備の仕組みに係る解説や工事による濁水の影響などに関する説明。
- ・奈良井川漁協から白山手取川漁協への講演（意見交換）会で双方の課題や漁場への影響などについて理解を深めること。



5. 得られた効果

「4. 実施概要」を実施したことで、白山手取川漁協の理解を得て水力発電事業を継続的に実施していくことについて前向きにご協力いただけることになった。

さらに、白山手取川漁協の理解を得ながら丁寧に事業を進めることで、モデルケースとして他の河川で小水力発電事業に繋がると考える。